

第11回、朝活かみいち、報告

◆概要

今回は、桜の愛好家にご登場いただき、桜に関する面白い話をどっさりとしていただき、その後は皆さんと桜談義を楽しみました。以下に記録風にまとめてみましたのでごらんください。また皆様からの書き込みもどしどしとお願いしたく存じます。

題目 : さくらのあれこれ

進行役: 武田宏 氏 (さくらもりの会副会長)

日時 : 4月9日(木)7時から8時まで

場所 : M's cloud にて

参加者 : 12人(町内6人)

◆はじめに

再来年、魚津の桃山運動公園周辺で全国植樹祭が行われ、天皇・皇后両陛下をお迎えして植樹祭が実施されます。天皇さまはコシノヒガンを、皇后さまはコシノフユザクラを植えられるとのことです。

私は、県中央植物園の友の会の会員で、とやまさくら守の会の副会長を務めております。

今日は、三つの話題でお話をいたします。

- (1)桜餅の葉
- (2)桜の開花宣言
- (3)新しい桜

◆桜餅の葉

桜餅には、道明寺(上方風)と長命寺(江戸風)の二種類があります。なぜお寺の名前かといいますと、花見のシーズンにお寺さんの前で餅を売っていたからです。

ここで注目したいのは、桜の葉です。桜といえばソメイヨシノですが、これの葉には毛があつて桜餅の葉には適せず、ほとんどがオオヤマザクラやヤマザクラです。オオヤマザクラの葉とソメイヨシノの葉を比べてみますと、(ノコギリの葉にたとえれば)前者のほうが葉の輪郭の凹凸が鋭くつがってます。(スライドを見て皆さん、フウーン)

桜の葉を収穫するには、専用の畑があります。桜の木を沢山植えて育て、木の高さが1mほどで銅切りして、徒長枝を伸ばし、その葉を摘んでいくのです。摘んだ葉は50枚重ねて、これを直径3~4mの桶の中に

人が入って、桜の葉と塩を交互に積んで塩漬けにします。ある程度漬かったら桜餅の葉として使います。

◆桜

ソメイヨシノはオオシマザクラとエドヒガンの交配種です。実際の生育に当たっては、オオシマザクラを台木にしております。挿し木はうまくいかないことが多く、芽接ぎが一般的です。

台木からソメイヨシノが生育しても途中で枯れると、オオシマザクラが芽吹いてきます。そんなこともあります。

ソメイヨシノがあちこちにあるのは、ほとんど芽接ぎですので、すべてクローンともいえます。だから咲く時期は一緒なのです。もし野生ならそうはいきません。

桜の手入れについてですが、枝打ちをします。ほっておくと下の方に出た枝からまた下に枝が出て、木にとってよくありません。切ったところには菌が入り込まないように薬を塗ります。

◆開花宣言

2009年12月に気象庁は開花宣言をしないと発表しました。今は日本気象協会やウエザーニュースなどの民間団体が宣言を行っています。ただ、気象庁も、春の動植物の様相をいち早く発表しておりますので、桜についても何かにつけて触れております。

阪神競馬では、4月に桜花賞がありますが、開催日に桜が開花するように制御していると聞いています。寒い日が続くようなら幹を断熱材でくるみ、暑い日が続くようなら根元をドライアイスでクーリングします。

◆各地の開花標準木

(1)沖縄・奄美大島では、桜はカンヒザクラです。ソメイヨシノは木として育ちますが、花は咲きません。開花にはある程度の低温が必要であり、当地は年平均気温16度です。

(2)北海道は、道南までソメイヨシノが咲きますが、エゾヤマザクラ(オオヤマザクラ)が一般的です。上市町馬場島の座禅桜もオオヤマザクラです。根室の桜ですが、開花時期の遅さとしては日本一です。

ここの桜はチシマサクラです。

(3)立山弥陀ヶ原では、タカネサクラがあります。これは7月から8月に咲きます。(皆さん、えーっ、夏に咲くなんて)

(4)冬に咲く桜もあります。コシノフユサクラといいますが、かつて住民は秋に開花したのを見て、狂い咲きだとみていました。私が新品種ではないかと県中央植物園に調べてもらった結果、新発見ということになりました。大坪の土肥家や大岩の白川家にあります。秋に咲き、積雪時一旦休み、春にまた開花します。

上市折戸にツルギオリトキクザクラ(劔折戸菊桜)があります。花弁が200枚以上もあり、こんもりとふくらみ重いため、下に向かって花が咲きます。残念なことに、その木は老齢化でたおれてしまい、いまは西田美術館の前庭に分木して植わっております。

(5)花びらが4枚のサクラもあります。もちろんガクも4枚です。(これはコシノフユザクラに関連した話)

(6)上市石仏の嶋町神社境内の嶋町菊桜には二段咲きの花もあります。花が(あたかも二重塔の屋根のように)ダブルで構成されているということです。新聞に、このことが載ったら、すぐに観光客が押し寄せて、近所の方は大迷惑でしたが、地区のサクラ愛好家の永田正俊さんが木製のベンチや仮設トイレを設けたりして、訪れる皆さんに気を配っておられました。

(7)新種と新品種、違いがあります。新種には、学会で検証が必要であり、世界にないことを実証してから、認定となります。この点、新品種はそうではありません。ここでは新品種といっているのはそのためです。

◆講演の後はサクラ談義になりました。8時に一応終わったのですが、談義は9時まで続き、武田先生のサクラに寄せる熱い思いとともに各人サクラに寄せる思いで、談義が渦巻いて大いに盛り上がりました。サクラについては、「なぜ梅でなく桜ですか」、「日本人のサクラに寄せる感情や感性は」、などもっと話が聞きたくぜひ秋ごろにまた朝活でお願いしますとのことで、ようやく散会となりました。

武田先生、皆さん、ご参加ありがとうございました。

Togashi 編集記 yamaguchi チェック

◆

皆さん、朝早くから私のつたない話を熱心に聞いて戴き有難うございました。皆さんの熱い眼差しと意欲的な姿勢に感心させられました。何事にも前向きに進んで取り組んで居られる皆さんは大変輝いて見えました。有難うございました。(武田)

